

## 第4学年1組 社会科学習指導案

平成26年9月17日（水）

授業者 岩田 信之

児童数 男子16名 女子12名 計28名

1 単元名 わたしたちの埼玉県「(1) 埼玉県の様子」

2 小单元について

(1) WEB上では掲載しません。

(2) 本小单元は、小学校学習指導要領社会編第3学年及び第4学年の目標(2)、(3)、内容(6)を受けて設定したものである。特に、「県内における自分たちの町及び我が国における自分たちの県の地理的位置」、「47都道府県の名称と位置」、「県全体の地形や主な産業の概要」、「交通網の様子や主な都市の位置」を調べることを通して、県の地形や産業などの概要や分布などに見られる特色を具体的に考えられるようにすることをねらいとしている。

本小单元を進めていく際には、大单元である「わたしたちの埼玉県」の導入では47都道府県の名称と位置を押さえ、埼玉県の位置を日本全体の中で捉えられるようにする。その上で、小单元「(1) 埼玉県の様子」の「つかむ」過程で、児童にとって身近な話題やクイズ、写真などから埼玉県に関心をもたせ、身近であるが知らないことがたくさんあることに気付かせ、児童の「知りたい!」という思いを高めて、学習内容を自分のこととした上で単元の学習問題を設定する。

「調べる」過程では、埼玉県の土地の様子を実感的にとらえ、かつ児童が興味をもって取り組み自分のこととして継続して調べるよう、立体地図を作成する作業的な活動を行う。立体地図を上から見たり横から見たりしながら、西の方は山地で標高が高く、東に移るにつれて丘陵、台地、低地と広がっていることに気付かせる。また、立体地図を見て、県内を流れる主な河川や土地の特色、県庁のあるさいたま市の位置などを調べてワークシートに記入していくことで、基礎的な知識を確実に身に付ける。その後、県内の主な産業の概要、交通網の様子、主な都市の位置を副読本をもとに調べていく。調べていく際には、調べた結果をトレーシングペーパーに書きこんでいき、立体地図と重ねることで地形との関係を考えさせる。第7時から第9時において、立体地図とトレーシングペーパーを重ねて考えることを繰り返すことで、児童が複数の社会的事象を比較・関連して考えられるようにしていく。その後、第10時では、それまで調べてまとめてきたトレーシングペーパーを複数枚重ねて関連付けることで、交通網の様子と人口の多い主な都市の位置との関係や主な産業の広がりから見られる共通点に気付かせ、埼玉県の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置から埼玉県全体の特色を考えることができるようにしていく。

そして、「まとめる・生かす」過程では、これまで学んだことや、作成した白地図を生かして「埼玉紹介紙芝居」を作成して学んだことを整理したうえで、学習問題の結論を導き出させる。学習問題の結論を導く際には、いくつかのキーワードを教師が意図的に示して考えさせることで、学んだことを活用できるようにする。初めに個人で書かせ、その後学級全体で意見を束ねていくことで、学級全体の結論を導いていく。

### 3 小単元の目標と評価規準

県内における嵐山町及び我が国における埼玉県の地理的位置、県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置、47都道府県の名称と位置などに関心を持ち、地図などの資料を活用して具体的に調べ、白地図に書き表す。

また、県内における嵐山町の地理的位置、県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置、47都道府県の名称と位置について理解し、小単元を通して調べたことを基に、県の特徴を考える。

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
埼玉県地形や主な産業の概要、47都道府県の名称や位置などについて関心を持ち、意欲的に調べ、自分たちが生活している埼玉県の様子や特色やよさについて考えようとしている。	埼玉県地形や主な産業の概要、国内の他地域や外国とのかかわりなどについて問題意識を持ち、学習の見通しをもって解決している。また、調べたことを基に埼玉県の特徴について考え、思考・判断したことを適切に表現している。	県内における嵐山町の地理的位置、県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や友好・姉妹都市提携を結ぶ国等を地図などの資料で調べたり、調べた結果を白地図に書き表したりしている。	県内における嵐山町の地理的位置、県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置、国内の他地域や外国とのかかわりなどについて理解している。また日本における埼玉県の位置や47都道府県の名称と位置について理解している。

4 知識の構造図

学習指導要領の「内容」との関連

- 内容(6) 県(都、道、府)の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県(都、道、府)の特色を考えるようにする。
- ア 県(都、道、府)内における自分たちの市(区、町、村)及び我が国における自分たちの県(都、道、府)の地理的位置、47都道府県の名称と位置
- イ 県(都、道、府)全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置
- エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

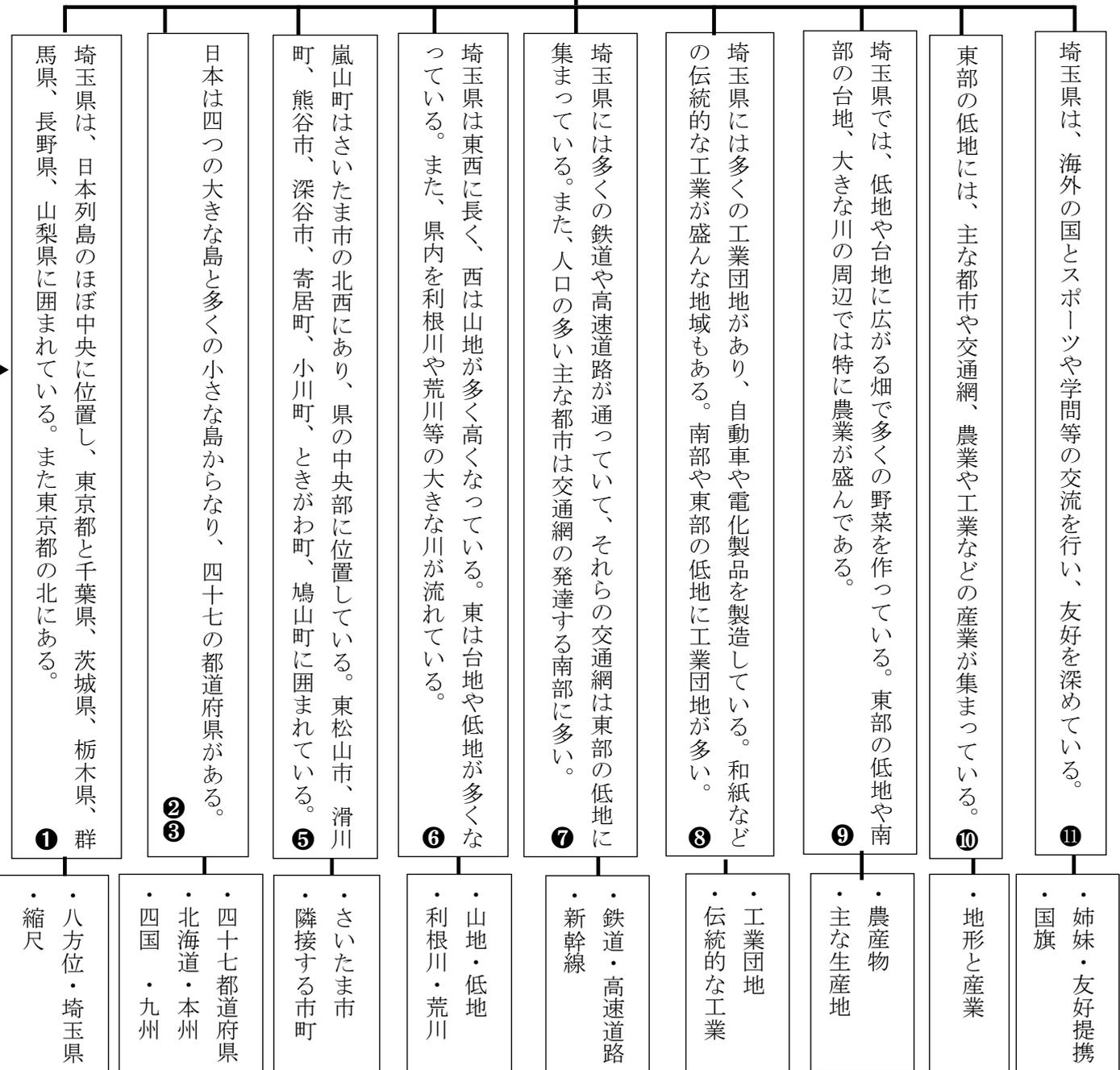
中心概念

埼玉県は日本列島のほぼ中央部に位置し、地形は西側に山地が多く東側に低地が広がっている。台地や低地には畑が広がり、たくさんの農作物が作られている。県の東部には、低地が広がり利根川や荒川に沿って田が多い。低地には交通網や主な都市、工業団地が集まっている。また海外の姉妹・友好都市とも交流している。⑫

単元を通して児童が学ぶべき概念的な知識

授業で児童が学ぶべき具体的な知識

授業で押さえるべき用語・語句



\*④は学習問題を立てる時間のため欠番とした。

5 指導計画と評価計画（12時間扱い）

\*数字は時間を表す。 関：社会的事象への関心・意欲・態度 思：社会的な思考・判断・表現

()は評価方法を表す。 技：観察・資料活用の技能 知：社会的事象についての知識・理解

	学習活動・学習内容	学習活動に即した評価規準 ( ) 評価方法
大 単 元 の 導 入	1 日本における埼玉県的位置や隣接する都道府県との位置関係について調べる。 ・地図帳の使い方 ・八方位 ・縮尺 ・地図の読み取り ・日本における埼玉県的位置	関 埼玉県に隣接する都道府県の位置関係や八方位などに関心をもって調べている。 (発言・ノート)
	2 47都道府県の名称と位置について調べ、白地図にまとめる。 ・47都道府県の名称と位置	技 47都道府県の名称と位置を地図帳を使って調べ、白地図にまとめている。(発言・白地図)
	3 47都道府県名クイズを通して、47都道府県の名称と位置、埼玉県との地理的關係について理解を深める。 ・47都道府県の名称と位置 (県名を地図帳で調べ、白地図上で指摘できるようにする。)	知 クイズを通して、47都道府県の名称と位置、埼玉県的位置について理解している。 (発言・ワークシート)
	4 埼玉県について知っていることを発表したり、クイズに答えたりしながら、学習問題を立てる。 ①行ったことがある場所や知っている場所を発表し合う。 ・行ったことがある場所 ・知っている都市や施設 ②埼玉県クイズに取り組み、調べてみたいことを考える。 ・土地の様子、農業、工業、交通、諸外国との交流に関する問題に答えること	関 埼玉県について関心をもち、意欲的に発表したり調べたいことを考えたりしている。 (発言・ノート)
	③学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。 ・県の様子を大まかに予想してみること ・これから学習することについて整理すること	思 友だちの意見を聞いたりクイズに答えたりすることを通して、学習問題を考え表現している。 (発言・ノート)
	5 埼玉県における嵐山町の位置や隣接する市町村の名称と位置 関 係を調べる。 ・埼玉県内における嵐山町の位置 ・さいたま市からの方位、距離 ・嵐山町からさいたま市の方位 ・隣接する市町村の名称と嵐山町からの方位	技 調べたことを白地図やノートに表している。(白地図・ノート) 知 埼玉県内における嵐山町の位置や隣接する市町村との位置関係について調べ、理解している。 (発言・ノート)
6 埼玉県の地形について立体地図の作成や、副読本を活用することを通して調べ、地形の特色について考える。 ・埼玉県の立体地図を作成すること ・埼玉県の形、地形の特色 (土地の高低、川、山地、低地、台地、丘陵)	知 立体地図から埼玉県の形や地形の特色などをとらえ理解している。(発言・ノート) 思 地形の特色を考え、言語で適切に表現することができる。 (発言・ワークシート)	

つ  
か  
む

調 べ る	7 県内の交通網の様子と主な都市の位置を調べて、白地図上に表現し、立体地図と重ねることで、次のことを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高速道路網</li> <li>・県内の鉄道網</li> <li>・交通網と地形との関係、国内の他地域とのかかわり</li> </ul>	技 県内の交通網や主な都市の位置について調べて、白地図やノートに表している。 (白地図・ノート) 知 県内の交通網や主な都市について理解している。 (発言・ノート)
	8 県内の工業の概要を調べて白地図に表現し、立体地図と重ねることで、次のことを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県工業団地</li> <li>・県内の伝統工業</li> <li>・工業地域の広がり地形との関係</li> </ul>	技 県内の工業の概要について調べて、白地図やノートに表している。 (白地図・ノート) 知 県内の工業の特色について理解している。 (発言・ノート)
	9 県内の農業の概要を調べて白地図に表現し、立体地図と重ねることで、次のことを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の収穫量で上位に入る野菜</li> <li>・県内の産地</li> <li>・農業が盛んな地域と地形との関係</li> </ul>	技 県内の農業の概要について調べて、白地図やノートに表している。 (白地図・ノート) 知 県内の農業の特色について理解している。 (発言・ノート)
	10 これまで作成した立体地図と白地図(交通網、工業団地の分布、農産物の分布)を重ねて関連付け特色について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低地に交通や人口の多い都市、工業団地などが集まること</li> <li>・伝統工業は地形に関係なく散らばっていること</li> </ul>	思 白地図と立体地図を重ねることで、諸産業の広がり地形との関係について考え表現している。 (発言・ワークシート)
	11 埼玉県が姉妹・友好提携を結んでいる国の名前や位置を調べ、埼玉県と外国の国々とのかかわりについて白地図にまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県の姉妹・友好都市</li> <li>・姉妹・友好と都市の国旗</li> </ul>	技 地図や地球儀などを活用して、姉妹・友好都市の位置や交流の様子を白地図にまとめている。 (白地図・ワークシート)
12 調べてきたことをもとに、「埼玉紹介紙芝居」を作成し、それを基に学級全体で話し合い、学級全体の結論を導き出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形、工業、農業、交通網、主な都市などこれまで調べてきたことをまとめること</li> <li>・学習問題の結論を考えること(個人→学級全体)</li> </ul>	関 これまでの学習を生かして「埼玉紹介紙芝居」作りに意欲的に取り組もうとする。 (態度・発言)	
ま と め る ・ 生 か す	<b>学習問題の結論</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県は日本列島のほぼ中央部に位置し、地形は西の方に山地が多く東の方に低地が広がっている。</li> <li>・台地や低地には畑が広がり、たくさんの農作物が作られている。また、県の東の方には、低地が広がり利根川や荒川に沿って田が多い。</li> <li>・低地には交通網や人口の多い都市、工業団地が集まっている。</li> <li>・海外の姉妹・友好都市とも交流している。</li> </ul>	
	思 学習問題について話し合い、結論を導き出し、表現している。 (発言・ワークシート)	

本時

6 本時の展開

(1) 目標

- ・ 県内の農業の様子について調べて、白地図やノートに表す。 (観察・資料活用の技能)
- ・ 県内の農業の特色を理解する。 (社会的事象についての知識・理解)

(2) 展開

学習活動・学習内容	評価 (★) と指導の工夫 (・)	資料・準備	時間
<p>1 埼玉県内の農作物に関するクイズに答えることで、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜をモチーフにしたキャラクター</li> <li>・ 埼玉県の農業産出額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県でつくられている野菜に興味・関心をもたせることで本時の課題への意識を高めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜をモチーフにしたゆるキャラの写真</li> </ul>	5
<p>本時の学習課題</p> <p>埼玉県では、どんな農作物がどこで作られているのだろうか。</p>			
<p>2 学習課題について予想する。</p> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねぎ・・・深谷市</li> <li>・ 米・・・低地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予想をさせることで、解決のための見通しをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埼玉県全図</li> </ul>	5
<p>3 収穫量の全国順位で上位に入る農作物のシールをトレーシングペーパーの白地図上に貼り、農業の様子をノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国順位が上位の農作物</li> <li>・ 農作物の生産地分布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国順位で上位に入る農作物を調べることで、生産地の分布の特徴を見出せるようにする。</li> <li>1位 ほうれんそう</li> <li>2位 かぶ、ブロッコリー さといも、ねぎ</li> <li>3位 きゅうり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白地図が印刷されたトレーシングペーパー</li> <li>・ 野菜シール</li> </ul>	15
<p>★県内の農業の様子について調べて、白地図やノートに表している。【技】(ノート・白地図)</p> <p>→白地図やノートに表すことができた児童には、生産地分布の特徴を考えるように助言する。(B→Aへの手立て)</p> <p>→作業が進まない児童には、副読本とトレーシングペーパーを並べて置かせ、対応する場所を指し示して支援・助言する。(C→Bへの手立て)</p>			

<p>4 立体地図と白地図（トレーシングペーパー）を重ね、地形と産地との関連を読み取る。</p> <p>〈進め方〉</p> <p>①個人で考える。</p> <p>②ペアで意見交換する。</p> <p>③全体で意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東の方や北の方の低地で多くの農産物が作られていること</li> <li>・利根川や荒川の近くで多くの農作物が作られていること</li> <li>・台地や丘陵地に産地が多いこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形との関連で分布の特徴を読み取らせ、ノートに書かせる。</li> <li>・全体の意見交流の際には、実物投影機で確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物投影機</li> </ul>	<p>10</p>
<p>5 学習を振り返り、まとめを書くとともに全体で意見交流をする。</p> <p>【本時のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうれんそうやかぶ、ブロッコリーさといも、ねぎ、きゅうりなど多くの農作物がとれる。</li> <li>・埼玉県では東の方や北の方の低地、大きな川の近くで多くの農作物が作られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板からキーワードを探して書くよう指示する。</li> </ul> <div data-bbox="702 833 1114 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農作物</li> <li>○東の方 ○低地</li> <li>○川</li> </ul> </div>		<p>10</p>
	<p>★県内の農業の特色を理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知】（発言・ノート）</p> <p>→県内の農業の特色を理解できた児童には、理由を考えるように助言する。</p> <p style="text-align: center;">（B→Aへの手立て）</p> <p>→県内の農業の特色が理解できていない児童には、板書や資料を使って補足説明をする。</p> <p style="text-align: center;">（C→Bへの手立て）</p>		

(3) 板書計画

ふっかちゃん	よしみん	学習課題 埼玉県では、どんな農作物がどこで作られているのだろうか。
深谷市（ねぎ） 吉見町（いちご）		予想 ねぎ・・・深谷 米・・・低地
19670000000	埼玉県の農業産出額	調べて分かったこと
		1位 ほうれんそう 2位 かぶ、ブロッコリー さといも、ねぎ 3位 きゅうり
埼玉ではたくさんの農作物がとれる！！		地図を重ねて分かったこと
		①東の方や北の方の低地で多くの農産物が作られている。 ②利根川や荒川の近くで多くの農作物が作られている。 ③台地や丘陵地に産地が多い。
		まとめ
		・ほうれんそうやねぎ、さといも、こまつななど多くの農作物がとれる。 ・埼玉県では東の方や北の方の低地、大きな川の近くで多くの農作物が作られている。